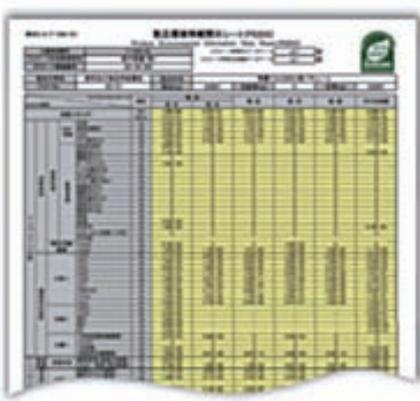
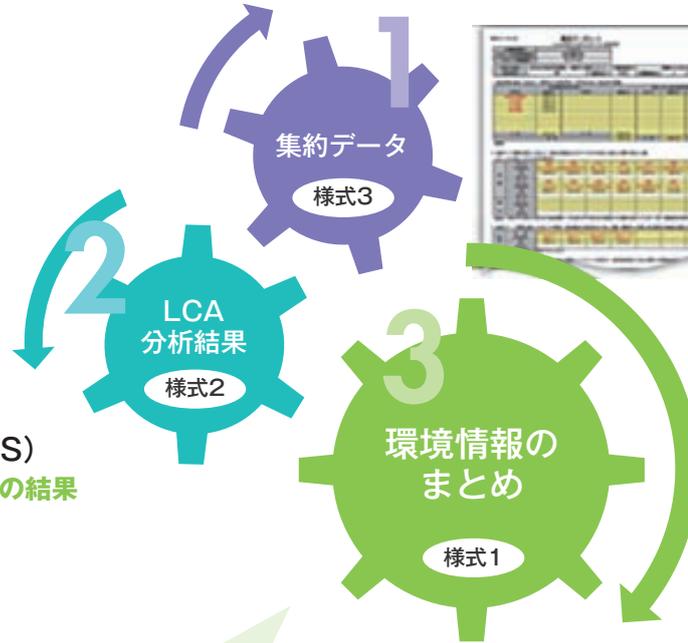


エコリーフ公開ラベルの構成と内容 (3つの公開ラベル)

エコリーフを取得した製品は、1.製品データシート 2.製品環境情報開示シート 3.「製品環境情報」の作成手順を経て、PCRとともに公開されます。「製品環境情報」には、その製品に関する環境情報のポイントと製品概要がまとめられています。



製品環境情報開示シート (PEIDS)
インベントリ分析／インパクト評価の結果



製品データシート (PDS)
LCA入力データ

製品環境情報 (PEAD)
PEIDS, PDSのポイントと製品概要

PCR(製品分類別基準)情報

製品分類ごとに環境負荷データを計測するための共通のルール (= PCR)が決定されています。ここではPCRで定めた製品分類名と、PCR番号が表示されています。このPCR番号からルールが参照できます。

▶ <http://www.jemai.or.jp/ecoleaf>

製品写真

製品の基本情報 (製品名と仕様)

環境側面ごとの情報

一口に環境情報、と言っても様々です。ここでは、温暖化負荷、酸性化負荷、エネルギー消費量を必須とする3項目が表示されます。

(項目は製品分類ごとに追加・変更できます。)

ライフサイクルステージごとの情報

上記の記載項目について、LCAの手法に基づき、資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの製品の全ライフサイクルステージごとの環境負荷が定量的に表示されます。

その他関連エコデザイン情報

欄外には、関連エコデザイン情報 (例: 有害化学物質情報、エコデザインシステム情報、自社製品の新旧比較情報など) が表示されます。

第三者検証情報

このラベルに関するデータはエコリーフ検証員により適切に第三者検証が実施され、所定の登録手続きを経て外部公開されます。

